

歌敷山中学校同窓会会報

第27号 (令和2年度)





目 次

	頁
・〈ひろたまさき〉の仕事	同窓会会長 山口 雅登 …… (1)
・変わることを恐れない ～コロナ禍の学校～	学 校 長 藤原 裕之 …… (3)
・啐琢動機	教 頭 沖 憲治 …… (4)
・子どもたちへの願い	PTA副会長 東 美子 …… (5)
・同窓会開催報告 ……………	(6)
・同窓会活動報告 ……………	(7)
・歌中歌壇 ……………	(9)
・同窓生だより ……………	(10)
・同窓生近況報告 ……………	(11)
・母校・同窓会のあゆみ(年表) ……………	(17)
・ホームページのリニューアルについて ……………	(21)
・会計報告 ……………	(24)
・同窓会規約 ……………	(24)
・役員・評議員一覧 ……………	(26)
・各委員会からのお知らせ ……………	(28)



〈ひろたまさき〉の仕事

同窓会会長 山口雅登

一回生の広田昌希さんが今年（令和二年）六月に亡くなられました。実は月号への寄稿をお願いするためにご自宅にお

電話した折に、奥様から訃報を伝えられたのでした。私は広田さんとは面識がなかったのですが、歴史学者として大阪大学名誉教授であられた広田さんにぜひ一度お会いしてお話を伺いたいと念願していましたので誠に残念な思いでした。お会いするための予習としてご著書のいくつかを拝読していましたが、同窓会員の皆様にも広田さんの生前の業績を知って頂きたく、追悼の思いも込めてここに一文をしたためたいと思います。もとより素人の一読者に過ぎない者の感想文以上ではないことは、あらかじめご承知おき下さい。

広田さんは全ての著書にペンネームと

して「ひろたまさき」と表記されていたので、ここでも以下「ひろたさん」と呼びびします。

ひろたさんのお仕事は大きく三つに分けることができます。①福沢諭吉研究、②民衆思想史研究、③差別に関する研究の三本柱です。それらは一応、原理論、方法論、現象論ともみなせますが互いに深く関連していて考察に応じて役割を交代するようでもあります。ひろたさんの出発点は①の福沢諭吉研究です。著書としては『福沢諭吉研究』（一九七六年、東大出版会）と評伝『福沢諭吉』（一九七六年、朝日新聞社、後二〇一五年、岩波現代文庫で再刊）の二冊ですが、福沢に関する研究論文と評伝をほとんど同時に発刊するという研究者としては稀に見る幸運に恵まれました。②の民衆思想史研究に該当

する著書は『文明開化と民衆意識』（一九八〇年、青木書店）と『日本帝国と民衆意識』（二〇二二、有志舎）です。ひろたさんは民衆思想史の分野では、色川大吉、鹿野政直、安丸良夫と並ぶ代表的な研究者でした。特に安丸とは、同じ一九三四年生まれで、共に京都大学国史学専攻の研究者として出発した仲でした。③の差別研究の代表作は『差別の諸相』（一九九〇年、岩波書店）と『差別の視線』（一九九八年、吉川弘文館）の二冊です。前者は差別に関する網羅的な文書資料集として海外でも高く評価されました。その解説文として書かれた「日本近代社会の差別構造」を中心に差別に関する論文をまとめたものが後者です。この他に講演集『近代日本を語る（福沢諭吉と民衆と差別）』（二〇〇一年、吉川弘文館）があり三つの分野に横断的に言及されています。

ひろたさんと福沢諭吉との出会いが、多くの人と同様に「天は人の上に人をつくらず」という『学問のすすめ』冒頭の文言であったことは恐らく間違いありま

せん。終戦直後ラジオからくり返しこの言葉が流れてきたと、ひろたさんは回想しています。また福沢が幕末維新の激動の時代に「一身にして二生を生きた」人物であったことも、戦中戦後にかけて軍国主義から民主主義へ、一夜にして社会も教育も切り替わった時代を生き抜くための指針を、ひろたさんは福沢の人生と思想に求めたのではなかったでしょうか。たとえば開国論者であった福沢が攘夷派による「暗殺の噂におびえながらも帯刀を廃した姿が、戦争放棄を決意した日本国民の姿と二重写しになってしょうがないのである」と後年ひろたさんは書いています。しかし実際に主著の中で、ひろたさんが福沢に下した評価はきわめて厳しいものでした。福沢の主著『文明論之概略』も「啓蒙主義の飛躍と凋落を一気に抱え込んだ」とみなしています。福沢は文明開化の立場であり、民衆の立場に立っていない、との判断です。そして西洋列強の脅威にさらされた東アジア情勢下で、福沢が次第に国権主義から帝

国主義へと転落していく、と考えます。

ではひろたさんの考える民衆とはどのような存在でしょうか。『文明開化と民衆意識』に収録された論文「啓蒙思想と文明開化」の中で、ひろたさんは三極構造論を提議しています。民衆は一色ではなく、明治初年において豪農・村落支配層、一般民衆、文明開化から排除された奈落と辺境に位置する民衆の大きく三つの層に分かれる、という主張です。歴史的に引継がれた差別の他に、文明開化が新たな差別を生み出す、と考えるのです。ひろたさんが「民衆思想」ではなく「民衆意識」という言葉を使うのも、新たな差別を生み出す「民衆の視線」に着目するからです。福沢の思想がこの民衆の底辺にまで届いていない、というのがひろたさんの福沢批判の眼目だと思います。ひろたさんの福沢論の最大の論敵は丸山眞男ですが、丸山の福沢論に対するひろたさんの感動から批判へ、という転回は福沢に対するそれと共通しています。

『文明論之概略』と『福翁自伝』によって、

福沢論吉は日本の思想史・文学史上ゆるぎのない存在ですが、福沢の全体像は本物の巨人なのか、それともただの風車にすぎないのか、私たちが自らドン・キホーテになって自力で挑戦することを、ひろたさんの仕事の全体がバックアップしているように思います。

広田さんは実名で発表された「私の敗戦前後と今」という文章で、歌中時代のことを回想されています。その中で「おなじ中学に就職クラスがあつて、その子たちとはほとんど交流がなかつた」と悔恨の気持ちを込めて書かれています。その就職クラスのなかに灰谷健次郎もいたわけですが、もし本好きの二人の少年が出会っていればという空想は私を少し楽しくしてくれます。



変わることを恐れない 「コロナ禍の学校」

学校長 藤原裕之

令和二年度、この一年は我々教職員、生徒一同にとって忘れることのできない一年と言えるでしょう。

四月、臨時休校が続き、入学式ができなくなりしました。

六月、学校が始まるも、分散登校でクラス全員が顔を合わすことさえできませんでした。

七月、感染防止対策を取りながらの一斉登校が、何とか順調に行われ始めましたが、修学旅行、音楽コンクール、文化発表会舞台の部の中止が決まりました。また、神戸市中学校総体も中止となり、代替大会がkarouうじて開催されました。

八月、二週間の短い夏休みが終わり、炎天下の中、二学期が始まりました。

十月、今までにない、学年別の体育会を

行いました。

十一月、文化発表会の舞台の部は中止となりましたが、karouうじて展示の部を行いました。

こうして半年あまりのトピックを挙げただけでも怒涛の一年を垣間見ることができます。

しかし、この苦難の学校生活を強いられたながらも、生徒はそれに負けずに日々の学校生活を、少しでも楽しみを見つけ、明るい笑顔で過こしてくれました。我々職員も、これまでの常識にとらわれることなく、変わることを恐れず、今できることは何かを自問自答しながらやってきました。

「WITTH コロナ」恐らくしばらくは、この言葉とともに生活していかなくてはなりません。集会では生徒によく「失っ

たものを憂うのではなく、今できることを大切に、思い出を創つっていきましょう。」と話しています。

これからの学校は、コロナを言い訳にするのではなく、これをきっかけとして、より良く変わっていかねければなりません。「これまでは……」ではなく、「これからは……」という前向きな考えを持つていくことが大切です。また、いったんはとん挫していた学校改修計画も、再び改修のための調査が始まっています。歌敷山中学校は、これから中も外もどんどん進化していきます。

同窓会の会員の皆様にとっては、これまで築いてこられた伝統が変わっていくかもしれません、新しい伝統の始まりとして、温かく応援していただければ幸いです。

「変わることを恐れない。」これからの歌敷山中学校の合言葉になりそうです。



塚頭 憲治

教頭 沖 憲治

今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、生徒を中心とする学校行事や同窓会の活動も変更や中止となり、例年のような活気がみられない一年となりました。その中でも生徒たちは、自分たちができることを最大限に行い、数少ない行事を盛り上げ歌敷山中学校の歩みの中に足跡を立派に残してくれました。

また、ここ数年の間に世の中の流れは急激に変化しています。新学習指導要領の実施も来年度から本格化し、GIGAスクール事業でのICTの導入が本格的に始まり、生徒ひとり一台の端末が割り当てられ、授業配信も可能になるなど、学習環境も大幅に変化しています。これからの時代を支える生徒たちの適応力には感心させられます。生徒たちの「活動したい」という意欲と、それを取り巻く

環境を整えることで、子どもたちの可能性に勢いをつけたいと思います。

さて、歌敷山中学校で二年目を迎え、学校や同窓会の歴史が少しずつ分かります。はじめ、知れば知るほどその歴史の重さを感じています。今年度は、「春の桜の学校開放」、ホームカミングデーも中止となり、恒例の行事が行われない残念なスタートとなりましたが、在校生は新たな歴史を着実に刻んでいます。

今年度の部活動は、三年生最後の中学校総体が残念ながら中止となり、満足のいく練習もできませんでしたが、新チームの神戸市中学校新人大会では、昨年の市総体に続き女子剣道部が団体準優勝、ソフトボール部準優勝、サッカー部準優勝、男子バスケットボール部が第三位となり、県大会出場を果たしました。

文化部においても、吹奏楽コンクールや文化発表会が中止となりました。その中、地域の施設にご協力いただき、マリニア神戸において吹奏楽部の発表会を盛大に開催することができました。

新型コロナウイルスの影響を受けながらも、地域の温かいところに生徒たちは救われた年になりました。地域の学校として今後も伝統を引き継ぎながら、さらに飛躍できるよう生徒ともども頑張りたいと思います。変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。





子どもたちへの願い

PTA副会長 東 美子

同窓会の皆さま、日頃より歌敷山中学校PTA活動にご支援ご協力いただき、誠にありがとうございます。

歌敷山中学校のPTA本部をさせていただいて二年目となりましたが、コロナ禍の為、例年通りとはいかず行事がごとごとく中止となり、戸惑いの日々を過ごしております。

歌中生も、コロナによる混乱に巻き込まれており、今は我慢の時を過ごしています。

入学式、総体、コンクール、文化発表会、体育祭、野外活動、すべての行事が縮小または中止となりました。

三年生は積み重ねた努力の集大成を発揮する機会さえ奪われ、楽しみにしていた修学旅行までも中止になりました。

中学生に限らず、コロナのためにたくさんの方が大変な思いをしていらっしゃるかと存じます。

しかしながら、二度と戻ってこない中学生生活の大事な思い出作りを奪われるのは辛いだろうと胸が痛みます。

そんな中、十一月五日に文化発表会展示というイベントがありました。

文化部の部活動の成果である作品や、学年別の授業で生徒のみなさんが制作した作品の展示というものでした。

中学生らしいエネルギーにあふれ、細部まで作りこまれた作品の数々に感心させられるばかりで、こんな中でも一人一人が頑張っているんだな、と元気づけられるイベントでした。

ですが、今お世話になっている中学一年生の息子の上に姉、兄がおりまして、二人が歌中生だった当時の文化発表会とどうしても比べてしまい、例年賑わっていた体育館では、ぐるりと壁に沿って作品が並び、真ん中がぼっかりあいている空間になっており、なんだか寂しく感じてしまいました。

そんな展示イベントが終わって先日、息子のお手紙ファイルをチェックしていた時に学級通信を何気なく読んでいて、急に目頭が熱くなりました。

多くの生徒さんが『文化発表会でできて良かった』とスクールダイアリーに書いていたという内容のものでした。

例年とは違うこんな時でも、展示されて嬉しかった！見てもらえた！という気持ちで綴られていた事を嬉しく思い、子どもたちの純粋な気持ちに胸が熱くなったのです。

そしてなんだか寂しいなあ、と思った自分が少し恥ずかしくなりました。

今は誰もがコロナに振り回されてばかりいますが、思春期を迎えて大人になりかけている繊細な時期の子ども達に、前を向いて歩いて行って欲しいと願うばかりです。

そんな子どもたちに、大人の見守りは大きな助けになるかと思えます。

同窓会の皆様にも、子どもたちを引き続き温かい目で見守っていただければ、大変ありがたいです。

これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈りしております。



同窓会開催報告

❖ 令和元年度総会報告

令和元年度同窓会総会は、十一月四日(月) 舞子ピラにて開催されました。いつものようにまず「あじさいホール」で総会行事を行い、続いて「六甲の間」に移動して懇親会が開かれました。

総会議事に先立ち、神戸地区大会で金賞、兵庫県大会で銀賞の榮譽に輝いた母校吹奏楽部一・二年生が、ホールの舞台いっぱいに迫力のある演奏で、会場全体を明るく楽しい雰囲気ですくんでくれました。これまで長年にわたり吹奏楽部の発展に貢献された田中克典先生に替わり、新しく顧問になられた前蘭恵美子先生による初めての指揮でした。



総会では、司会の酒井文子さん(二六回生)による開会の辞に続き、物故者への

黙祷が行われました。来賓を代表して母校の前川志のお校長と中島明俊PTA会長から丁重な祝辞を頂きました。議事に入り活動報告、会計報告、監査報告の後、母校への記念品贈呈(部活に対する奨励賞)と滞りなく進行し無事終了しました。

総会終了後の懇親会では、卒業五〇周年を迎えた二〇回生と四〇周年を迎えた三〇回生の記念同期会との合同開催となり、広い「六甲の間」で一堂に会しました。開会の挨拶に続き、今回ゲストとしてお招きした桂三四郎(四八回生 野津瑛司)さんの落語が披露されました。



サービスタツプりの軽妙な「まくら」の後、古典落語の『犬の目』が演じられました。ぶっつけ本番のインタヴューにも才気煥発の受け答えが見事でした。今後のご活躍が大いに期待されます。

その後の歓談や、回生毎に撮影した記念写真も和気あいあいと楽しいものでした。そして懇親会の最後はいつもの通り校歌の大合唱で盛大に締めくくられました。



同窓会活動報告

◆ 令和元年度ふれあい
グランドゴルフ大会参加報告

六回生 伊藤 宏

令和元年度のふれあいグランドゴルフ大会が、令和元年十一月三十日(土)母校第一グラウンドで行われました。

この日の参加者は、霞ヶ丘小学校の児童(園児二名を含む)と保護者二十三名、東舞子小学校の児童・保護者九名、地元老人会の霞ヶ丘健寿会十四名、そしてわが同窓会から十二名、合計五十九名でした。



前川校長、開会挨拶

ゲームは、A1〜4、B1〜4、計8チームに分かれ、九時からの開会式後の九時二〇分一斉にスタート、前半8、後半8、

合計16のホールを廻ってプレーを競い、十一時四〇分に終了しました。

引き続き行われた表彰式では、先ず団体賞として成績上位三位までとブービー

となったチームが表彰されました。次いで個人賞としてホールイン

ワン達成者の表彰が行われました。今回ホールインワン達成者は十名、うち四名が同窓会で、

この中で四回生の塩崎さんが三回という「離れ業」を成し遂げ、皆から喝采を浴びました。

このあと、山口会長から閉会の挨拶があり、正午前に大会を終了しました。



司会・進行担当、伊藤理事



ホールインワン賞、塩崎さん

なお、恒例により今回同窓会からの参加者を紹介しておきます。
 回生順に、永富敏之②、塩崎武④、伊藤宏⑥、永富典子⑦、黒島陸枝⑦、林佐名哉⑦、北村裕美⑦、濱田豊機⑪、藤本純子⑰、山口雅登⑰、奥田勉⑰、中原憲造⑳の計十二名の皆さんです。



朝影差す母校グラウンド



同窓会メンバー、ちびっこと共に

◆追記(ふれあいグランドゴルフ 大会の閉幕について)

令和二年五月、母校より歌中ふれあい懇話会委員各位に文書で「令和二年度第一回歌中ふれあい懇話会について」の標題で通知があり、その中で、「尚、グランドゴルフについては部活動のガイドラインにより中学生の参加が難しいことや、PTA活動の精選を考慮し二年間試験的に行いました。結果、今年度より行いません。」との告知がなされました。

これにより、昭和六十年代より長きに亘って実施されてきたふれあいグランドゴルフ大会は、前記大会開催をもって終止符が打たれることになりました。

同窓会は平成十一年に初めて参加して以降、毎年続けて参加し、平成二十六年からは協賛団体として大会運営にも協力してきただけに、この大会の閉幕には一抹の寂しさを憶えるところです。

◆歌中ふれあい懇話会(見学会)報告

令和二年二月二〇日(木)の令和元年度第三回「歌中ふれあい懇話会」はいつもとは違い外部で開催されました。これは前川校長のアイデアによるもので、垂水区小東山にある児童自立支援施設神戸市立若葉学園の見学を兼ねたものでした。

同学園は、家庭や学校にうまく適応できず様々な困難を抱えた児童を受入れ、自立を支援する全寮制の児童福祉施設です。地下鉄「学園都市駅」から歩いて5分余りの自然環境に恵まれた広大な敷地の中にあります。生活の場(寮舎)と学びの場(学校)、広々とした運動場、農作業を学べる農園等からなり、寮舎では住込みの教職員ご夫婦が一組一〇名程度の子どもたちを支援する体制で、共に家庭的な雰囲気の中で暮らしています。現在の子どもたちは四四名(小学生一〇名、中学生三四名)で、平均在園期間は一年半程度とのこと。中学三年以降の受入れはなく、本来の家庭や学校(原籍校)との連絡も継続される。家庭復帰、児童養護施設他、

進学を希望する場合は全寮制高校を目指すことも多いそうです。就職希望者には職場実習等の体験学習も実施されています。

私たちは普段、社会の表面しか見ずに物事を判断しがちですが、人間にとって教育とは何か、を深く考えさせられる経験になりました。

◆第七一回卒業式報告

今回は異例の卒業式になりました。当初三月一〇日に予定されていましたが、コロナウィルス感染防止のため神戸市立学園すべての臨時休業が直前に決まり、やむなく三月一七日に延期されたのです。参加者は原則として卒業生と先生方のみで、保護者は校庭で待機し、式典後に記念撮影に加わるようになりました。特例としてPTA会長と同窓会会長のみ式典に加えて頂きました。

会場の体育館は、換気のため窓が開けられていましたので、いつもに増して寒々しく、卒業生はマスク着用で、出来るだけ間隔を取って着席していました。壇上での

卒業証書授与はなく、一人ひとり名前を呼ばれて、その場で起立して返事するのみでした。在校生代表による送辞と、卒業生代表による答辞は例年通り読まれましたが、いつも印象的な在校生による合唱や、卒業生によるお別れの歌はありませんでした。校歌斉唱もなくピアノによる演奏のみでした。このように異例な式典ではありましたが、卒業生の記憶には、鮮やかにいつまでも残るものであったかも知れません。



歌中歌壇

広報委員会では、ご希望あれば短歌などを紙面の空きスペースに掲載する事にしました。

九回生 南部 直敏

玉砂利の音は冷たし

生前の父と境内で平和のことを

命日の迫るさなかに暖房す

母の得意は玉子焼きの味

「二人ぐらしのおせち係よ」

同窓の乙女明るく 駅へと向かう

十七回生 高杉 優子

ただ梅を見つつ登れば海光る

疫禍超え新たな世を待つ水仙花

蛹割る力や満ちて卒業す



同窓生 だより

桂 三四郎
(48 回生 野津 瑛司)

初めまして 48 回生の桂三四郎と申します。

一昨年は、歌敷山中学校同窓会総会にお呼びいただきまして誠にありがとうございました。

昨年の同窓会総会は残念ながらコロナウイルスの感染防止の関係から中止になってしまったということでも残念です。

いまだ猛威を奮い続けているコロナウイルスの影響で本当に世界中大変な事態になっており、皆様方の生活にも多大な影響があることでしょう。

我々落語家も数々のイベントが中止になり、活動の幅が制限され芸術芸能の分野に携わる業界は苦境に立たされています。

最近、私はコロナで失った仕事の時間を使って完全にゴルフにハマってしまいました。

月によっては高座の数よりゴルフに行く数が上回る月もあったほ

どです。

このままだと私は「ゴルフ好きな落語家」ではなく「落語好きのゴルファー」になってしまいます。

コロナが終息すると、私がゴルフでスコアを 100 切ることのどちらが早いかわかりませんが、本当に 1 日も早くコロナが終息してほしいと願っています。

ただ、こんな時だからこそ真剣にゴルフに取り組んでいます。

「こんな時にあいつ落語の稽古もせんと何しとんねん (笑)」と笑ってもらえたら最高です。

先が見えない不安な世の中だからこそ、最も先が見えない私たちが楽観的に生きて周りの人たちの不安を軽くしてあげることも芸人の役目だと思います。

私たちは「アリとキリギリス」でいうと完全にキリギリスです。

僕らキリギリスは誰かに笑ってもらう、楽しんでもらうことで幸せになる生き物です。

どれだけ厳しい冬でも「いやいや、明日はめっちゃあったかくなるで!!」と震えながら笑うのがキリギリスの生き様です。

本当の冬が来た時に真っ先にいなくなるのは我々キリギリスです。

「あいつらが一番最初にいなくなるのにヘラヘラ笑ってるで? (笑)」

と笑って少しでも不安な心が軽くなってくれたら嬉しいです。

私がこのコロナで苦しく辛かったことは、緊急事態宣言中に人との接触を極力避けなければいけない時に感じた「孤独」と「不安」でした。

人に会えないという寂しさだけでなく、落語家として舞台がなくなった時に世の中から必要とされていないのではないかという「孤独」そしてこのままもう落語家として生きていけないのではないかという「不安」に襲われました。

人間は「孤独」にすごくストレスを感じ、そして「不幸」よりも「不安」に弱い生き物です。

私は自粛中にネット配信やネットのコンテンツに力を入れ始めました。

私と同じように孤独を感じている誰かの寂しさを一人でも紛らわすことができれば、悲しい気持ちを楽しんでいたら、不安に襲われている時にクスリとでも笑ってもらえることができれば……。

そう思いネットで発信しているうちに、途中であることに気づきました。

「誰かの孤独を助けることで自分の孤独も癒されている」ということに。

SNS や動画配信上のつながりですがそこには人間関係が介在し、私は桂三四郎として発信することで誰かにつながり、孤独ではなくなっていたのです。

このコロナで人と人とのつながりが何より大事なものと改めて気付かされました。

当たり前のことなのですが、当たり前のことこそ気をつけていないと疎かになってしまうものです。

ですから周りで孤独を感じている方、不安を感じている方がいらっしやったら優しい言葉をかけてあげていただけないでしょうか。

きっとその言葉で救われる人もいらっしやるでしょうし、そのことで自分も癒されているはずです。

コロナが終息した後でも、誰か寂しさや不安を感じている人にみんなが手を差し伸べてあげることができる優しい世の中であってほしいと願っています。



*同窓会近況報告・メッセージ (令和2年12月5日現在)

1	1 回生 F 組	松岡 享子	今年はコロナを避けて蓼科の山の家で過ごしています。おかげさまで元気にしています。
2	1 回生 H 組	三宅 陽子	歌中同窓会を準備するのに、舞子幼稚園で会合を持ったこともありました。益々のご発展をお祈りします。
3	1 回生 K 組	木下 トミ	7月に思いがけなく心臓の手術を受け、一命をさずかり感謝しています。つくづく年齢を感じました。
4	1 回生 K 組	竹中 義明	2020年は、新型コロナウイルス感染症で、経済活動も生活様式も大きく変わりつつある中で、お陰様で元気に過ごせる日々感謝です。
5	2 回生 E 組	岡本 正幸	瑞穂公園管理会のもと、花とともに生き、健康増進に頑張っています。
6	2 回生 E 組	祖多佳代子	元気に暮らして居ります。同級生の女性達も割と元気なので、いつもお電話で楽しいおしゃべりをして居ります。
7	2 回生 J 組	芦田真知子	奈良に住みついて早 50 年。でもいまだになじめず、神戸がなつかしく機会があればそちらに出向いています。
8	3 回生 A 組	鹿島 朝弘	世間新型コロナで大変ですが、皆様如何御過ごしでしょうか？思い返せばペスト、天然痘、猩紅熱等々何年毎に発生し、人間に対する神の御仕置の様な気がしますネ。何とか辛抱して頑張りましょう。よろしく。
9	3 回生 B 組	山下 英世	今年は開催されず残念です。来年には開催されること楽しみにして何とか元気しております。
10	3 回生 B 組	吉岡昭一郎	新型コロナウイルス肺炎禍に適應するためには、密閉、密集、密着禁止の実施です。つまり環境に適應できる人間は必ず生き残れるのです。がんばろう!! しかし中小企業、個人企業への経済対策の遅れで、痛ましい自殺者が出ることは残念です。
11	3 回生 C 組	林 照夫	老化現象と共に記憶力・体力も落ちて来ましたが、毎日それなりに元気に生活しています。次年度の開催を楽しみにしています。
12	3 回生 C 組	増田 嗣郎	来年は年男ですが、まだ現役で働いています。ゴルフも年なりに楽しんでいます。
13	3 回生 J 組	深谷 淑子	現在当地で元気に生活しております。
14	3 回生 L 組	和田 勉	大阪府の山奥に住んでいます。
15	4 回生 B 組	亘 弘子	世界中がコロナに巻き込まれたこの1年！ 来年には楽しい同窓会を祈願します。
16	4 回生 B 組	山上 俊夫	新型コロナウイルスの影響下、旅行は控えていますが、体力劣化を阻止すべく週2回のスポーツジム通いとオカリナクラブ同好会は相変わらず継続し歳相応の生活を楽しんでいます。
17	4 回生 F 組	荒井登志子	年齢 83 歳ですが元気に過ごしています。皆様のご健康をお祈りしています。
18	5 回生 A 組	神部 元成	コロナ禍が早く終わり、元の平穏な世の中になることを祈ります。また次回の総会が無事に出来ます事を願います。評議員の皆さんに宜しくお伝え下さい。
19	6 回生 A 組	伊藤 宏	令和2年3月末をもって、平成20年4月から務めてきた同窓会本部役員をリタイアしました。この間、なにかとご支援、ご協力下さったご関係の皆様心から感謝とお礼を申しあげます。
20	6 回生 A 組	尾崎 茂子	このコロナ禍中で、学校生活を送るのは先生方にとっても学生にとっても本当に大変な事でしょう。どうか、無事にこの時期を乗り切られますよう願っております。

21	6回生 A組	片山 齊	元気に過ごしています。皆様に宜しく。
22	6回生 D組	橋原美知子	80歳代となって急に体力も気力も弱ってきましたが、なんとか元気にしております。外出も旅行も制限されるなか、皆様も元気で過ごして下さいませ。
23	6回生 G組	今井 功	巣ごもり状態が続きますが、今迄のところ無事に過ごしています。これまで何とも思わないで過ごしてきた日常のあれこれが、いかに貴重なものであったかを思い知らされました。何とか無事に生き延びて以前の生活に戻れる日が来ることを望んでいます。
24	6回生 G組	井上 昇	令和1年に脳梗塞になり、手足が不自由になり、日常生活もままならなく。
25	6回生 G組	錦田 健滋	80歳となり、足腰が衰えて来たが週5回はデジカメ担いでバイクを走らせ、万博公園や六甲高山植物園で下手な写真を撮っています。
26	6回生 G組	宮崎 正巳	定期健診にて4年前に悪性リンパ腫（ステージ4）と宣告されましたが無症状なのと高齢のため無治療経過観察を選択して3年経過の昨年8月、突如体調の急変と発症。1か月の入院と半年間の抗がん剤投与の結果、大した副作用もなく幸運にも完解したとの診断を受けました。残る人生もうひと頑張りする所存です。近代医学の進歩に感謝。
27	6回生 G組	渡辺 豊	高校卒業後東京に移転し、神戸は懐かしい遠い場所となりました。老齢+コロナのため神戸への訪問は難しくなりました。同窓会の発展を祈念しつつ。
28	7回生 A組	大和 啓子	毎日元気に過ごしています。皆様もどうぞご自愛下さいませ。
29	7回生 D組	林 佐名哉	いろいろな催しが中止になり、とても残念です。楽しみがうすれてしまったような感じが致します。(すべて新型コロナウイルスの為)
30	7回生 E組	松下 洋子	外出は好きではありませんが、家ではおだやかに過ごしています。
31	7回生 F組	黒島 陸枝	コロナ禍のため外出がままならず、その分家庭菜園に力を入れて、ますます元気です。
32	7回生 F組	山上 淑子	毎日元気に散歩したり、編み物、クロスワード、漢字パズル等しております。
33	8回生 B組	喜多 嘉男	日々ウォーキングにカラオケ、パソコン等々、楽しんでいます。
34	8回生 C組	御前 勝己	50年前に始めた製造業を淡々と続けております。健康以外にとりえも無く、不幸でない幸せをかみしめながら心は青年のままです。
35	8回生 C組	森田 勲	年齢に相応してまあまあ元気に過ごしております。コロナ禍後の同窓会再開に期待しています。
36	8回生 D組	下里 尚信	巣籠りしています。
37	8回生 E組	安藤万里子	毎朝スムージーを作り「きょうの料理」を見てレパートリーを増やしています。新聞をすみずみまで読み、筋肉トレーニングと散歩をして、週1回トレッキングに出かけています。
38	8回生 H組	藤井 靖之	コロナのためウォーキングも中止となり、個人で多聞寺から商大筋を通り、垂水から舞子まで海岸を歩いたりして、体を動かしています。あまり無理はしないように気をつけています。
39	8回生 I組	早川 弘子	コロナ状況の中、なかなか集まれなくてさびしいですが、早く終了してくれればよいかなとおもっています。一人一人が責任をもって行動して行きたいです。

40	9回生 B組	沼舘 廣彦	元気に過ごしています。春より全ての行事が中止。徐々に再開となり70%回復し元気を取り戻しています。
41	9回生 C組	吉田 基	お寺参詣と家内の世話に明け暮れています。
42	9回生 D組	津田美智子	来年1月で4年になるのですが、相変わらず両変形性膝関節症、そして2年後腰部脊柱管狭さく症、すべり症にて痛みに耐え乍ら今は週2日、リハビリの先生に治療お世話になり乍ら、日々ストレッチ等頑張っています。コロナ、自分の治療を終えお手伝い出来る日が来るのを楽しみにしています。
43	9回生 E組	浜野 元一	老化が進んでいます。
44	9回生 G組	中村 奎吾	体をこわして5年前から殆ど家にいます。可能なら同期の大谷さんによろしくお伝え下さい。
45	9回生 G組	南部 直敏	今年度も全国版のNHKや、兵庫版の毎日新聞の短歌欄に入選してにやにやしています。
46	9回生 H組	大谷 靖彦	化学繊維を作る紡糸ノズルを作る会社を手伝うようになって11年も経過してしまいました。お陰様でまだやるべきことがあり、毎日出勤しています。毎週末は、大山の見えるところで田舎暮らしをたのしみながら、元気に過ごしています。
47	10回生 D組	伊藤 一郎	今年はコロナ禍の為、大好きなゴルフ、カラオケ、麻雀、競馬等々、全て控えています、元気ですよ！
48	10回生 D組	吉川 彰	今年喜寿を迎えましたが、お陰様で元気に損害保険代理店で仕事を続けさせていただいております。休日はカラオケ同好会で楽しんでいます。
49	10回生 F組	西川 孟伸	コロナ禍で一人になる時間が増え、パソコンを相手に過ごしています。
50	10回生 I組	伊藤 忠明	元気で楽しく過ごしております。
51	10回生 J組	田中 正剛	76歳になりまして、歩く成人病状態になっています。それに追い打ちをかけるようにコロナ禍。ほとんど外出していません。
52	10回生 J組	中村 享司	私の健康法：週に2回社交ダンス。あと2回は卓球をして老いに負けない日を送っています。
53	11回生 A組	竹崎 壽子	ゆっくりと過ごしています。元気です。
54	11回生 B組	足立 眞一	元気で暮らしております。令和2年度は卒業60周年記念同期会もあり総会初参加の予定でしたが、中止となり残念です。令和3年度の同期会開催を期待しております。
55	11回生 B組	北川 守	今年の総会流会は残念ですが来年を期したいですネ。元気に過ごしております。
56	11回生 C組	中村 和弘	今回の60周年同期会流れて残念です。来年は開催されるように!!
57	11回生 D組	牧野千鶴子	今年はコロナで大変です。
58	11回生 D組	山本寿美子	今年は私たち11回生が卒業60周年なのに同窓会・同期会が中止で残念です。新型コロナウイルスの感染拡大で3～6月はおとなしく巣ごもり。7月から趣味のヨガとボタニカルアートの教室が再開さればちぼち外出。安心して旅行に行ける日を待ち望んでいます。
59	11回生 H組	中井 峯生	元気です。
60	11回生 H組	山下 和代	小学生の孫と義母(102歳)の介護に忙しい日々を送っておりますが、元気にしております。

61	11回生	I組	藪 克行	妻と二人三脚で発達障害者のガイドヘルパーで頑張っています。地域猫愛護団体の代表として毎日忙しくしています。費用がかかる為、現役で働いています。
62	11回生	I組	濱田 豊機	私はあい変わらず血圧管理に苦労していますが、それぞれ元気に過ごしています。コロナ禍のゆえに、同窓会総会が中止となり、我々11回生の卒業60周年記念同期会も開催できなくなった事は大変残念に思っています。
63	11回生	I組	藤井 英明	喜寿を迎えましたが、元気に過ごしています。
64	13回生	3組	坂口 邦彦	元気でボランティア活動をしています。
65	13回生	9組	西崎 毅	昨年手術を重ね、以来気功、胃瘻と病院通い以外は外出できず残念な日々となっています。歌中と同窓会の活躍を願っています。
66	14回生	1組	友成 節夫	年齢を感じ自覚しながら暮らしています。
67	14回生	10組	横山志津子	子ども達も独立して二人の生活に戻りました。
68	15回生	2組	尾崎 幸一	今年1月約50年ぶりに生まれ育った地に戻ってきました。今後ともよろしくお願いします。
69	15回生	5組	玉中 光雄	2012年に脳梗塞になり、その後遺症で左半身マヒで自由に動ける状態ではなく自宅ですごしている毎日です。
70	15回生	7組	平沼加代子	15回生の皆さんお元気ですか？令和2年度同窓会はコロナのために中止になりました。私たちは72歳ですね、今年は左膝が4月から痛くなり、6月からリハビリ、10月には痛みもなくなりほっとしています。70代は大切な年だなあ～と思いました。いつまでも自分で出来る様に頑張らなくてはと思います。着物や反物、帯から服を縫ったり、孫の服を縫ったりとボケない様にしています。皆様とお会い出来る日を楽しみにしております。どうぞお身体ご自愛下さい。
71	15回生	12組	岡田 英男	元気で生きています。令和2年12月をもって完全にリタイアとなります。大変なときですが、先生、生徒のみなさん、そしてPTAの方々、お体を大切に皆で乗り越えましょう。又会える時を楽しみにしています。(12組の方にも)
72	15回生	13組	是常 正樹	従来からの貿易業継続中。
73	16回生	3組	大塚 繁雄	現在病気の為、家に居ます。
74	16回生	4組	橋本 渉一	東南アジアで鉄道を建設する仕事に従事しています。
75	17回生	1組	細見 正樹	コロナに負けず、元気に過ごしています！
76	17回生	2組	吉森 和子	皆様お元気ですか。私の方は、老夫婦2人、日々ドッコイショと過ごしています。きょうは初めてポリ袋の湯せん料理にトライしました。ヨッコラショと今、隣で主人が立ち上がりました。お風呂でリハビリです。
77	17回生	2組	岡田 邦夫	最近はおツツツ、ボランティアの活動が増えて来ました。
78	17回生	3組	阿部 洋子	コロナ禍で、ボランティア活動中断で体調が不安定になったり、いろいろありますが、ボチボチ元気になっています。
79	17回生	3組	藤本 純子	9年前の大病後、先輩の方々、同級生のA君や多くの方々に助けいただき感謝しています。コロナで考え方、生活スタイルを変え、今の健康に感謝しつつ、仲間と色々な活動をしたいと思っています。

80	17回生 4組	鳥井田剛一	新型コロナウイルス感染拡大の今、古希の私にとっては巣籠り以外、感染予防の方法が見当たりません。又この欄で案内をさせて頂きました舞子小学校昭和38年3月卒業生同期会の延期、中学・高校の同窓会中止は残念無念。仕事上も縮小を余儀なくされ、収入減少で散々でした。今日は11月22日、良い夫婦の日とのこと。幸い次女が帰省しますので、家族の絆とやらを深める日にします。
81	17回生 4組	山際 丈	11月23日「疏水の日」イベントを金澤副知事出席のもと無事開催し、リタイア後の10年の節目を終えることが出来ました。今後は親族の介護が中心の生活になりますが、岩屋神社布団太鼓保存会と同窓会活動も頑張っていきたいと思っています。
82	17回生 5組	生方 享司	塩屋でクリニックを開業して30数年。そろそろ引退を考えています。
83	17回生 6組	桑原 仁志	相変わらず元気にシニアライフを楽しんでいます。
84	17回生 6組	真期 晴代	夫婦共に元気に過ごしています。今年はコロナで同窓会も無く残念ですが、皆様とお会いできる日が早く来る事を願っています。
85	17回生 6組	三田 雄策	3月生まれの為、まだかろうじて古希一步手前で踏みとどまっています。しかしホント健康の有難さが、今更のように身に染みて分かります。
86	17回生 7組	阿部 誠人	元気ですがHAWAIIに行けないのがツライ！
87	17回生 7組	伊藤 博	年間約250回の朝のリバーサイドウォーキング&バードウォッチングで撮影した野鳥の写真を、日本野鳥の会のBIRD FANフォトギャラリーに2013年6月より投稿して楽しんでいます。
88	17回生 7組	富士 健二	民生委員続いています。
89	17回生 9組	市川 隆司	拝啓 今年はコロナ禍、GO TOと慌ただしかったです。秋となり過ごしやすい日々が続いています。皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。ここ数年は母の里朝来市で過ごし、時々神戸に戻っています。今の時期は朝霧が立ち込め隣村の竹田城も雲海の中に浸ります。おたより有難うございます。元気に過ごしています。
90	17回生 12組	泉 光多郎	元気にやっています。
91	19回生 8組	塩谷 隆則	食品メーカーの専務として海外事業を担当しています。一日も早いコロナの終息と皆様のご健康を祈念します。
92	20回生 4組	森崎 俊夫	昨年初めて同窓会に出席させて頂き楽しいひと時をありがとうございました。今年はコロナ禍で全てが一変し、残念で悔しい限りです。この難事に負けず私もなんとか頑張っております。
93	20回生 5組	中原 憲造	岡本に20ヵ月住んでみましたが、昨年12月芦屋に戻りました。理由はいろいろです。
94	21回生 5組	幾島 郁子	思いがけずにコロナに振り回される年になりました。出来る範囲で楽しみたいと思います。
95	21回生 8組	笠間 士郎	令和2年6月より、ダイヤモンドエレクトリックホールディングス(株)に非常勤で勤務しています。
96	22回生 3組	鳥羽 淳詞	(株)神戸新聞会館役員
97	22回生 7組	帷 讓二	自営なので、自分の定年を75歳と決めて頑張っています。
98	24回生 3組	長谷 英彦	コロナ禍のため同級生の集りもなく、オンライン飲み会をやっています。
99	24回生 4組	百石 義明	テレワーク併用で営業の仕事をしております。

100	24回生 4組	林 隆嗣	平素は大変お世話になっています。現在フルタイムで神戸中央郵便局の区内全域を、かんぽ生命保険の集金とアフターフォローでお客様の信頼回復に向けて、今仕事をいただけることに感謝して、頑張っています。
101	29回生 2組	加藤 成久	(社福)神戸聖隷福祉事業団に勤めております。福祉人材不足です。ご希望者があれば、ぜひ声をかけてください。
102	29回生 2組	関口比佐子	現在は町内会役員や民生委員やいろいろなボランティア活動などを行っています。元気でがんばっています。
103	29回生 2組	松下 聡子	コロナのこの時期に、入社21年目にしてパートから正社員になりました。嫌な事、辛い事、楽しい事、うれしい事たくさんありました。自分でも頑張ったと思います。これからも頑張っていきます。
104	29回生 3組	渡辺 兼造	皆さんこんにちは。こういう状況なので同窓会が中止になったのは残念ですが、来年元気で会いましょう！
105	29回生 9組	辻 宏治	母、弟も歌中同窓生です。皆元気です。
106	30回生 11組	中岡 達也	「バレーボール部OB・OG会開催」への呼びかけ(本欄末尾に別途掲載)
107	30回生 4組	金月 智博	東京生活が30年を超えました。
108	30回生 10組	森 誉之	変わらず五色山に住み、年相応にサラリーマンしています。
109	69回生 6組	武田 史明	受験勉強 頑張っています。

【バレーボール部 OB・OG会 開催について】

30回生 中岡 達也

同総会員の皆さん、コロナ禍の中元気におすごしでしょうか？

今回バレーボール部のOB・OG会の開催を計画しています。私が在学中の顧問の先生は、男子部は浅野先生、加藤先生、西村先生で、女子部は古本先生、高橋先生でした。

歌中同窓会は、同期生の横の繋がりでは何回か行いましたが、部活毎の先輩・後輩の縦の繋がりで同窓会は初めてなので、どのようになるか、またどれくらい先輩、後輩の方々が集まって頂けるのか、まったくわかりませんが計画しています。

賛同される方、懐かしく思ってもらえる方が居られましたら一度連絡して下さい。元バレーボーラー皆で集まり、懐かしい昔話で盛り上がりましょう。

下記にご連絡お待ちしております。よろしくお願いいたします。

<連絡先>

30回生 中岡 達也

mail:t.nak.kan.380730+VOLLEY@gmail.com

*又は同窓会本部 山口までお問い合わせ頂いても結構です。

TEL:078-302-9093(自宅) mail:tom-miki@topaz.ocn.ne.jp

*物故者(お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げます)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| (1回生 A組) 川上 豊公 | (6回生 E組) 丘澤 佳紀 |
| (1回生 F組) 廣田 昌希 | (6回生 F組) 藤澤 宣義 |
| (1回生 G組) 成瀬 和夫 | (9回生 D組) 岡本(岡) 節子 |
| (3回生 K組) 吉川(寺井) 恵美子 | (9回生 H組) 須賀 英雄 |
| (3回生 L組) 小坂 芳弘 | (11回生 B組) 勝見 正則 |
| (3回生 M組) 大隅 惇吉 | (15回生 5組) 福井(古池) 方子 |

◆◆◆◆◆
母校・同窓会のあゆみ
 ◆◆◆◆◆

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|------------|--------------|-------------------------|---------------------------------|-----------------|--------------|-------------------------|----------|---------------|---------------------|--------------|----------------|---------------------|-------------------|--------------------------|-------------------------|---------------------------------------|
| 46 | 42 | 41 | 40 | 39 | 38 | 37 | 36 | 35 | 33 | 32 | 31 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | S
22 |
| 4 | 3 | 4 | 4 | 8 | 4 | 4 | 3 | 3 | 8 | 8 | 4 | 4 | 9 | 5 | 11 | 3 | 4 |
| 藤原隆夫教頭着任 | 水野一也教頭着任 | 舞子中学校独立分離 | 第5代校長 松井富左一郎着任 | 中藤光夫教頭着任 | プール建設工事完成 プール開き | 第4代校長 丹羽泰行着任 | 旧2号館(木造2階建)北パイプ教室焼失 | 柏木 武教頭着任 | 第3代校長 堀 敏夫着任 | 第2期工事(講堂兼体育館)完成 | 兵庫県中学校駅伝優勝 | 第1期鉄筋校舎完成(1号館) | 服部 孝教頭着任 | 柴 勇作教頭着任 | 垂水中学校独立分離、第2代校長 松岡敏郎着任 | 垂水分教場に新校舎(16教室)完成 | 垂水分教場に新校舎(16教室)完成 新校舎に移る 垂水分教場に1年生が残る |
| 4 | 11 | 4 | 4 | 8 | 11 | 9 | 8 | 4 | 4 | 8 | 4 | 4 | 9 | 8 | 11 | 4 | 4 |
| 創立20周年記念式典ならびに記念像除幕 | 水野一也教頭着任 | 舞子中学校独立分離 | 第5代校長 松井富左一郎着任 | 中藤光夫教頭着任 | プール建設工事完成 プール開き | 第4代校長 丹羽泰行着任 | 旧2号館(木造2階建)北パイプ教室焼失 | 柏木 武教頭着任 | 第3代校長 堀 敏夫着任 | 第2期工事(講堂兼体育館)完成 | 兵庫県中学校駅伝優勝 | 第1期鉄筋校舎完成(1号館) | 服部 孝教頭着任 | 柴 勇作教頭着任 | 垂水中学校独立分離、第2代校長 松岡敏郎着任 | 垂水分教場に新校舎(16教室)完成 | 垂水分教場に新校舎(16教室)完成 新校舎に移る 垂水分教場に1年生が残る |
| 56 | 48 | 47 | 55 | 54 | 53 | 52 | 51 | 50 | 49 | 48 | 47 | 46 | 45 | 44 | 43 | 42 | 41 |
| 8 | 2 | 3 | 3 | 2 | 1 | 4 | 1 | 4 | 7 | 2 | 3 | 4 | 8 | 7 | 11 | 4 | 3 |
| 第1運動場の防球ネット完成 | 同窓会会報第1号発行 | 第8代校長 高見興作着任 | 同窓会総会(母校講堂)同窓会規約改定(第1回) | 竹中義明(1回生)会長に就任 約100名の卒業生並びに職員参集 | 同窓会会報第1号発行 | 奥村賞推薦賞を受賞 | 奥村賞記念碑「よい歯を生涯保健のために」の除幕 | 奥野 拓教頭着任 | 第7代校長 細見英太郎着任 | 歌中の合いことは・生活信条プレート完成 | 同窓会再建準備委員会発足 | 全日本PTA会長表彰受賞 | 文部大臣賞受賞記念岩石園、日時計の完成 | 全日本よい歯の表彰 10回連続表彰 | 創立30周年記念式典 学校保健、文部大臣賞を受賞 | 「奉仕」の道・憩の広場、岩石園、英知の泉の完成 | 創立30周年記念カプセルを第1教材園に埋める |
| 8 | 12 | 6 | 4 | 11 | 12 | 10 | 9 | 8 | 11 | 7 | 3 | 4 | 8 | 11 | 4 | 3 | 3 |
| 第1運動場の防球ネット完成 | 同窓会会報第1号発行 | 第8代校長 高見興作着任 | 同窓会総会(母校講堂)同窓会規約改定(第1回) | 竹中義明(1回生)会長に就任 約100名の卒業生並びに職員参集 | 同窓会会報第1号発行 | 奥村賞推薦賞を受賞 | 奥村賞記念碑「よい歯を生涯保健のために」の除幕 | 奥野 拓教頭着任 | 第7代校長 細見英太郎着任 | 歌中の合いことは・生活信条プレート完成 | 同窓会再建準備委員会発足 | 全日本PTA会長表彰受賞 | 文部大臣賞受賞記念岩石園、日時計の完成 | 全日本よい歯の表彰 10回連続表彰 | 創立30周年記念式典 学校保健、文部大臣賞を受賞 | 「奉仕」の道・憩の広場、岩石園、英知の泉の完成 | 創立30周年記念カプセルを第1教材園に埋める |

57・2	旧2号館(木造校舎)の解体、撤去
11 5	増築校舎(5号館)並びに付属施設・設備の設置 同窓会総会 ・母校創立35周年記念総会(母校講堂) ・同窓会会員名簿発行
58・4	第9代校長 陸井豊一着任 南門完成
59・4	高木隆芳教頭着任
10	同窓会総会(母校講堂)
62・4	第10代校長 坂本 繁着任
8	同窓会総会・母校創立40周年記念総会(舞子ビラ)
63・4	第11代校長 松下正太郎着任 市総体水泳総合優勝
H1・4	岡田芳朗教頭着任 同窓会総会
2・4	第12代校長 小野博正着任
3・4	星陵台中学校独立分離 後藤達人教頭着任
4・9	新しい髪型になる(男子長髪) 白倉 猛教頭着任
4・4	天津市教育局スポーツ訪日団来校
7	天津市教育局スポーツ訪日団来校
9	第2土曜日が休業日となる
10	天津市教育局訪日団来校
11	歌中創立45周年記念同窓会総会(舞子ビラ)
5・4	男子制帽の自由化 武道館落成式
8	中国天津市実験中学校と友好提携を結ぶ
6・4	第13代校長 安東 保着任
11	同窓会総会(舞子ビラ)
7・1	阪神・淡路大震災発生 講堂、正門周辺および校庭南側ブ ロック塀・フェンス・プールなどに被害 避難所設置
4	第4土曜日が休業日となる 尾崎幸夫教頭着任
9・4	第14代校長 森本和彦着任 常深源三郎教頭着任
10・9	創立50周年記念式典(明石市民会館) 母校創立50周年記念事業実施(体育館舞台緞帳幕・袖幕・ 一文字幕及び機械設備一式新設)
11	創立50周年記念同窓会総会(新装舞子ビラ) ・同窓会会長 濱田豊機(11回生) 新会長に就任 ・同窓会規約改定
11・4	白井博美教頭着任
12・4	同窓会総会(舞子ビラ)開催
10	第15代校長 井上光利着任
9	河本博行教頭着任
13・4	同窓会総会(舞子ビラ)開催
9	中村誠孝教頭着任
14・4	1・4・5号館外壁補修完了
10	同窓会総会(舞子ビラ)開催
14・4	吉田純一教頭着任
9	同窓会総会(舞子ビラ)開催
15・4	第16代校長 角 孝雄着任
10	同窓会総会(舞子ビラ)開催
16・4	中溝茂雄教頭着任
17・3	同窓会総会(舞子ビラ)開催
10	56回生卒業式、同窓会入会式
4	59回生入学式
5	母校学校公開
10	同窓会総会(舞子ビラ)開催
3	57回生卒業式、同窓会入会式
4	根岸恒夫教頭着任
7	母校学校公開(桜の学校開放) 60回生入学式
8	校舎耐震補強工事開始
9	歌中ふれあいグラウンドゴルフ大会(中止) 体育会
10	文化発表会
11	同窓会総会11月4日(土)午後(舞子ビラ)開催
19・3	2年生トライやる・ウィーク 58回生卒業式、同窓会入会式 いこいの広場改修工事

4	第17代校長 岡本壽美雄着任 母校学校公開(桜の学校開放) 61回生入学式
6	歌中ふれあい懇話会 学校評議委員会 2年生トライやる・ウィーク
7	母校PTA同窓会三者懇談会 歌中ふれあいランドゴルフ大会
8	母校創立60周年記念事業実施(桜植樹、屋外時計柱改修等)
9	母校創立60周年記念体育会 母校創立60周年記念文化発表会
10	同窓会総会11月10日(土)午後(舞子ピラ)開催
11	59回生卒業式、同窓会入会式 藤本昭宏教頭着任
12	母校学校公開(桜の学校開放) 62回生入学式
13	母校PTA同窓会三者懇談会 歌中ふれあいランドゴルフ大会
14	体育会 文化発表会
15	同窓会総会 2年生トライやる・ウィーク
16	60回生卒業式、同窓会入会式 母校学校公開(桜の学校開放) 63回生入学式
17	母校PTA同窓会三者懇談会 2年生トライやる・ウィーク
18	歌中ふれあいランドゴルフ大会 体育会
19	文化発表会 同窓会総会
20	61回生卒業式、同窓会入会式 第18代校長 阪田俊晃着任
21	母校学校公開(桜の学校開放) 64回生入学式 母校PTA同窓会三者懇談会 2年生トライやる・ウィーク
22	歌中ふれあいランドゴルフ大会 同窓会設立60周年事業実施(歌中生合言葉・生活信条プレート改修、亮天功、石碑説明石板新設等) 体育会
23	10 文化発表会 同窓会設立60周年記念同窓会総会 9 62回生卒業式、同窓会入会式 8 齋藤公誉教頭着任 7 母校学校公開(桜の学校開放) 第1回ホームカミングデー開催 6 65回生入学式(二三五名入学) 5 母校PTA同窓会三者懇談会 4 体育会
24	3 文化発表会 同窓会総会 2 1号館エレベーター工事完成、運用開始 1 歌中ふれあいランドゴルフ大会
25	12 63回生卒業式、同窓会入会式 11 母校学校公開(桜の学校開放) 第2回ホームカミングデー開催 10 66回生入学式(一九八名入学) 9 母校PTA同窓会三者懇談会 8 体育会 7 文化発表会 同窓会総会 6 歌中ふれあいランドゴルフ大会(雨天中止)
26	10 64回生卒業式、同窓会入会式 9 母校学校公開(桜の学校開放) 第3回ホームカミングデー開催 8 前田隆彦教頭着任 7 67回生入学式(二四八名入学) 6 母校PTA同窓会三者懇談会 5 陸上部(拠点校部活)、全国大会(男子共通四〇〇m)出場 4 体育会 3 文化発表会 同窓会総会 2 歌中ふれあいランドゴルフ大会 1 65回生卒業式、同窓会入会式 0 母校学校公開(桜の学校開放) 第4回ホームカミングデー開催 1号館太陽光発電パネル稼働開始 19代校長 玉橋雅人着任 68回生入学式(二二九名入学) 母校PTA同窓会三者懇談会 第1グラウンド改修工事 体育会

ホームページのリニューアルについて

同窓会事務局 山際 丈

長年にわたりホームページの開設から維持更新に至るまでを担当された藪忠司さん（8回生）のご勇退により滞っていたホームページのリニューアルについて理事会、評議員会の承認を得た。

① 現行システムの継続

最も簡易で経費が僅かであるが次の点で困難

- ・ 個人の手間・経費に依存することは、本来のあり方ではない。
- ・ 経費の負担が闇の中である（個人的に会社のシステムを活用してほとんど経費が掛からないようにしているケースでは、個人が動かなくなればシステムが全く使用不可となる）
- 但しヤフーID・パスワード入手後、中身を見ないと判らない部分もある（調整が必要となり10万円以内の経費が必要）

② 現行システムの活用とSNSを新規で併用する

トピックス（最新ニュース）をSNSで発信する

SNSは双方向の情報交換が容易でありトピックスとしての特性をうまく発揮できる

- ・ トピックスをフェイスブックでアップする業者に委託する場合……経費 10万円
- ・ トピックスをラインでアップする業者に委託する場合……………経費 10万円

データベースとしての機能は現行のホームページに委ねる

上記①にフェイスブック、ラインのバナー設置

③ 新規のホームページを起ち上げる

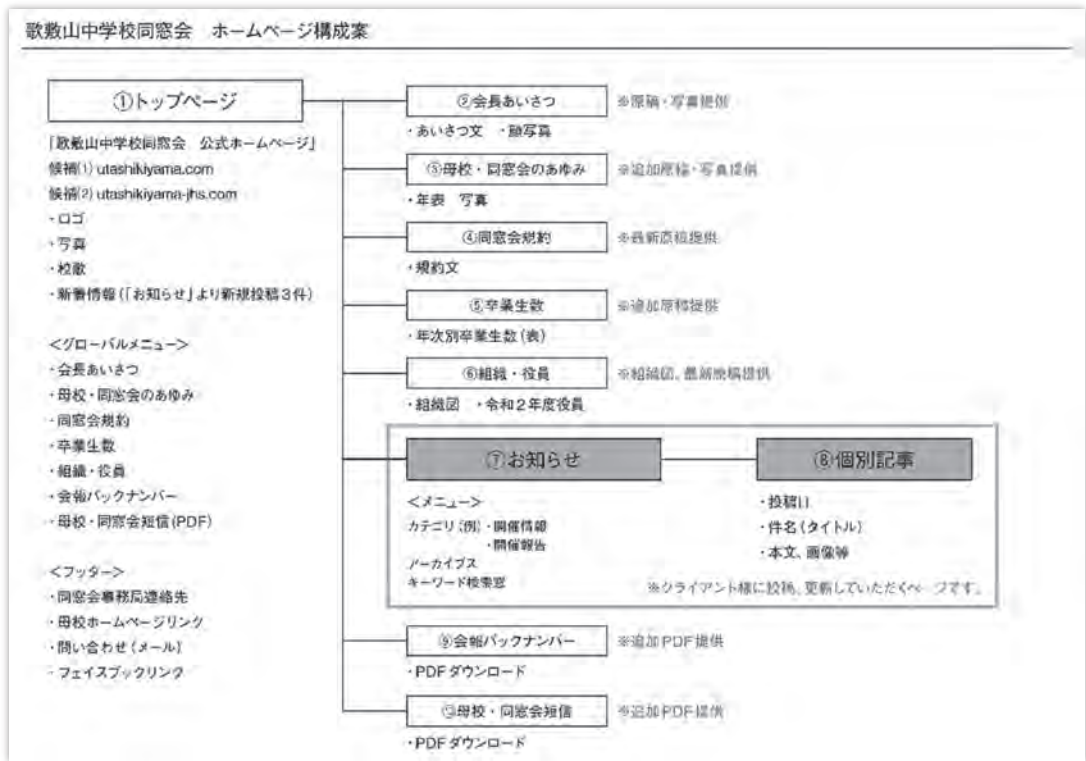
新規で起ち上げる場合……………経費 60万円以上

作成期間 3か月以上の期間が必要

他に初期にドメイン取得費用等掛かり、サーバー設置をするための年間ランニングコストが掛かる。（サーバー容量などにより金額は変わる）

上記①～③について役員会、評議員会で検討した結果、③新規のホームページを起ち上げることに決定した。（既存データは一部活用）

新規のホームページ構成案



フェイスブックやライン等のSNSで双方向の発信を可能とし同窓生の皆さまに十分活用して頂けるシステムとなる予定です。

トップページのデザイン案 (例示)



Utsunomiya Junior High School Alumni Association

会長あいさつ 母校・同窓会のあゆみ 同窓会規約 卒業生数 組織・役員 お知らせ

▶ 会報バックナンバー ▶ 母校・同窓会短信



春若草の萌え出する霞が丘の朝ぼらけ
伸びゆく生命健やかに
若き世紀をいま謳う
あこがれの学び舎ここぞあゝ歌敷山

新着情報



開催報告
21.01.05 UP
令和元年度(第10回)ホームカミングデーをアップしました。



開催情報
21.01.05 UP
令和2年度(第11回)歌敷山中学校同窓会ホームカミングデー・観桜会 開催のお知らせ

[一覧をみる](#)

歌敷山中学校同窓会事務局
〒655-0037 神戸市垂水区歌敷山2丁目4-1 神戸市立歌敷山中学校内
TEL: 078-707-8864

▶ 母校ホームページ



© 2020 UTSUNOMIYA JUNIOR HIGH SCHOOL ALUMNI ASSOCIATION

会 計 報 告

令和2年3月31日現在

財務委員会

平成31年度（H31.4.1～R2.3.31）決算報告書

(単位：円)

	収入の部		支出の部	
	項目	金額	項目	金額
一般会計	前期繰越金	4,392,647	会議費	56,111
	新会員会費	736,869	事務費	0
	預金利息	35	通信費	28,500
	支援助金	398,000	奨励金	290,000
			慶弔費	93,207
			印刷費	285,900
		特別事業費	215,156	
		総代会計へ振替	136,725	
		次期繰越金	4,421,952	
	小計	5,527,551	小計	5,527,551
総代会計	総会費	630,000	会議費	841,773
	賛助金	490,000	事務費	62,764
	祝儀	40,000	通信費	329,148
	懇親会費	50,000	印刷費	113,040
	一般会計から振替	136,725		
	小計	1,346,725	小計	1,346,725
	合計	6,874,276	合計	6,874,276

同窓会規約

第1章 総 則

第1条 本会は歌敷山中学校同窓会と称する。

第2条 本会は事務局を神戸市立歌敷山中学校（以下母校と称する）内に置く。

第2章 目的および事業

第3条 本会は会員相互の教養を高め、親睦をはかり、併せて母校の教育を振興することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するため下記の事業を行う。

1. 会報等の発行、名簿の管理、諸会合の開催
2. 母校教育活動への協力
3. その他、本会の目的を達成するために必要な事項

第3章 会 員

第5条 本会は次の会員をもって組織する。

正会員

(1) 母校卒業者

(2) 母校に在籍した者で、正会員の紹介で評議員会の承認を得た者

客員会員

(1) 母校職員および母校旧職員

(2) 母校PTA役員

第4章 役 員

第6条 本会に次の役員を置く。その任

期はそれぞれ2年とし、再選を妨げない。

会長1名 副会長若干名

理事若干名 監事若干名

評議員、各卒業年度若干名

第7条

会長および副会長は、理事中より互選する。会長は本会を代表し、会務を統括する。会長に事故があるときは、副会長がその職務を代行する。

第8条

理事は評議員中より互選する。この外、必要により会長は評議員会の承認を経て正会員に理事を委嘱することができる。理事は理事会を組織し、重要事項を審議する。

第9条

監事は正会員中より評議員会において選出する。監事は本会の会務並びに収支決算を監査する。評議員は正会員中より選出し、評議員会の承認を得るものとする。評議員は評議員会を組織し、重要事項を審議、決定する。また、評議員は出身回生を代表し、当該回生の同窓会諸活動と本部活動をサポートする。

第10条

本会に相談役若干名を置くことができる。相談役は、正会員で本会に功労あつた者の中および客員の中より理事会の推薦で会長がこれを委嘱する。母校校長はその在任中相談役とする。母校教頭はその在任中、同窓会事務局副委員長とする。

第11条

本会に相談役若干名を置くことができる。相談役は、正会員で本会に功労あつた者の中および客員の中より理事会の推薦で会長がこれを委嘱する。母校校長はその在任中相談役とする。母校教頭はその在任中、同窓会事務局副委員長とする。

第5章 会 議

第12条

評議員会・理事会は会長がこれを招集し、議長を指名する。その議事は出席した評議員・理事の過半数の同意をもって決する。可否同数であるときは議長の決するところによる。

第13条

評議員会・理事会に出席することのできない評議員・理事は書面をもって他の評議員・理事に委任し表決することができる。この場合予め通知した事項に関しては出席したもののみならず、すべての会議には次の事項を記載した議事録を作成し、これを保存する。

第14条

1. 開会の日時、場所、出席者および付議事項
2. 議事経過の要領および結果

第15条

原則として毎年総会を開催する。総会は、会員相互の交流・親睦、同窓会諸活動の報告の場とする。会長が総会を招集・開催する。企画実行は総会実行委員会が行う。総会実行委員会は、理事・評議員および正会員より構成される。この外、必要により臨時総会を開催することができる。

第6章 資産および会計

第16条

本会の経費は、入会金、会費、寄付金およびその他の収入によつて賄う。

第17条

正会員は本会に要する会費等を

負担する。

第18条 入会金は、原則として、在学中に積み立てた一定の金額をもつて充当する。

第19条 前条により収納した入会金と会費等は、これを一般会計と総会会計に分ける。

第20条 会計は、理事がこれを行ない、その決算は、監事の監査を経た後評議員会の承認を経なければならぬ。

第21条 一般会計より生じた余剰金については、理事会の承認を得て総会会計に充てることができる。

第22条 本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

第7章 補 則

第23条 本規約は、理事会および評議員会において出席の四分の三以上の同意を得なければ、これを変更することができない。

第24条 本会は、支部を地方、会社、学校、などに置くことができる。但し、支部規約は 別にこれを定める。

付 則

昭和55年6月1日、新規同窓会規約制定

平成10年11月8日、第1回改正

平成18年4月15日、第2回改正

平成29年10月7日、第3回改正

参考…昭和25年5月、歌敷山中学校同窓会の発足と規約発表があつたとの記録がある。

歌敷山中学校同窓会役員一覽

(令和三年二月三日現在)

本部役員

会長

山口 雅登(17回生)

☎(〇七八)三〇二一九〇九三

副会長

青木 宏真(22回生)

☎(〇七八)七八一三八六三

事務局長(理事)

山際 丈(17回生)

☎(〇七八)九九二一九二四

名簿委員会委員長(理事)

東石 満夫(17回生)

☎(〇七八)九九二二五五六

(兼)財務委員会委員長(理事)

青木 宏真(22回生)

☎(〇七八)七八一三八六三

財務委員会委員

砂川 廣行(15回生)

☎(〇七八)七九一八七五二

財務委員会委員

國方美知子(22回生)

☎(〇七八)七〇七一三六五五

★体育会担当委員

酒井 丈子(26回生)

☎(〇七八)七八一二八九九

同

佐伯 省一(26回生)

☎(〇七八)七〇六一五六五九

同

松下 聡子(29回生)

☎(〇七八)七〇八一五八二六

★文化発表会担当委員

林 佐名哉(7回生)

☎(〇七八)七八五一一三三三

同

津田美智子(9回生)

☎(〇七八)八四一七三三二

同

花田 春洋(11回生)

☎(〇七八)七〇七一六五八

★ホームカミングデー担当委員

阿部 洋子(17回生)

☎(〇七八)九三一九三三四

同

真期 晴代(17回生)

☎(〇七八)七〇七一四〇三五

同(兼)

藤本 純子(17回生)

☎(〇九〇)六九六二一八七二九

広報委員会委員長(理事)

藤本 純子(17回生)

☎(〇九〇)六九六二一八七二九

広報委員会委員(兼)

山口 雅登(17回生)

☎(〇七八)三〇二一九〇九三

・監事

黒島 陸枝(7回生)

☎(〇七八)七八二一五四一

林 佐名哉(7回生)

☎(〇七八)七八五一一三三三

酒井 康夫(11回生)

☎(〇七八)七〇九一三七七〇

・同窓会担当母校教頭

(事務局副委員長)

沖 憲治

☎(〇七八)七〇七一八六四(母校)

・相談役

母校校長

藤原 裕之

元会長

竹中 義明(1回生)

前会長

濱田 豊機(11回生)

評議員

1回生 竹中 義明

2回生 岡本 正幸

3回生 永井 昭夫

4回生 中村 義正

5回生 塩崎 武

6回生 神部 元成

7回生 原田 良彦

8回生 伊藤 宏

9回生 春田多美子

10回生 林 佐名哉

11回生 曾谷 全博

北島 哲夫

大谷 靖彦

津田美智子

泉 一誠

吉川 彰

西谷 智美

山下 和代

藤井 英明

酒井 康夫

木下 トミ

吉岡昭一郎

長野 齊

日置 直美

角南富美子

黒島 陸枝

森 吉正

吉田 基

左 吉宏

立花 宏昭

花田 春洋

濱田 豊機

平田 孝子

磯野 久代

各委員会からのお知らせ

1 賛助金、支援金ご協力の御礼

(事務局、財務委員会)

本年度も総会開催に当たりご協力をお願いしましたところ、多数の会員の皆様から深く感謝と御礼を申し上げます。同窓会への皆様の熱い気持ちを大切にし、有効に活用させていただきたいと思えます。

2 来年度総会予定について(事務局)

来年度(二〇二二年度)総会は、舞子ピラにて二〇二二年十一月六日(土)を予定しています。学年記念同期会と併せて多数のご参加をお待ちしています。

(記念同期会)

- 十二回生 (六十周年)
- 二十二回生 (五十周年)
- 三十二回生 (四十周年)
- 四十二回生 (三十周年)

3 同期会への助成金について

同窓会活動を活性化することを目的として、各学年主催の「同期会」を開催する時には、一定の要件を満たすことを条件に同窓会本部より助成金が出ます。詳細については同窓会事務局へ連絡下さい。

TEL 〇九〇二二〇一〇五三二

トライやる・ウィークについて

(御協力お願い)

ご承知の通り母校でも毎年「トライやる・ウィーク」活動を実施しております。次代を担う若者に実社会への体験の場を通じ、地域社会とのかかわりを深めることで、健全な成長と働くことの意義を醸成する機会となっています。令和二年度は十一月十三日(金)・一月十四日(木)に実施されました。こうした「体験の場」を同窓会としても支援していきたく、提供していただける方、可能性のある方は気軽に後記の担当者へご連絡、お問い合わせください。

■今までご紹介いただいた体験の場

(幼稚園・保育園・小学校・商店・病院・動物病院・旅行社 他)

■連絡先

歌敷山中学校「トライやる・ウィーク」

推進委員会

担当：西野 優理子先生 藤田 健先生

TEL 〇七八七〇七七八六四

FAX 〇七八七〇七七八六五

フェイスブック

www.facebook.com/utasikiyama.dousoukai/

●賛助金・支援金のお祝い●

振込先 郵便振替 1口2,000円以上
口座記号・番号 00970-6-187019
加入者名 歌敷山中学校同窓会
お振込いただいた方には会報をお届けします。

●お 願 い●

コロナ禍で行事がなく異例の年になりましたが、賛助金・支援金には今まで以上のご協力をよろしくお願ひします。

〒655-0037
垂水区歌敷山3-1-10
携 帯 090-6962-8729
17回生 藤本 純子



歌敷山中学校同窓会会報

第二十七号(令和二年度)

令和三年三月三日発行

〒六五五-〇〇三七

神戸市垂水区歌敷山二丁目四一

(神戸市立歌敷山中学校内)

歌敷山中学校同窓会

TEL(〇七八)七〇七一八八六四

編集 会報広報委員会
印刷 (有)新和プリント

